

## ベトナム現地情報（2021.10.26）

ジャパン証券 北山亨

### 第17回「ベトナムの紙幣」

日本ではこの度お札が新しくなります。ベトナムでも近年キャッシュレス化が進んでいますが、未だに現金依存度は高いです。今回はベトナムの紙幣について、少し見ていきたいと思えます。

#### ハノイの骨董市に行ってみた

ベトナムではコロナとの共生を目指す「ウィズコロナ」のスローガンの下、経済活動が本格的に再開しています。そのため、ハノイの街にも活気が戻ってきました。昔の紙幣を探すため、筆者は今回 地元の骨董市に潜入しました。



骨董市には焼き物や仏像、ベトナム戦争時の軍用品など様々なものが売られています。外国人観光客も訪れるのか、マーケットでは英語が通じます。「日本人か？」と聞かれました。



各国のコインも売られてました。2003年に発行され、今は使われなくなった200ドン、500ドン、2,000ドンの硬貨を見つけました。ベトナムの通貨制度の発展のため、国際的な慣行に

従って発行されました。しかし発行された時期には同額の紙幣も使われており、実用的ではないとのことで浸透せずにそのまま消えていきました。現在も中央銀行のホームページには記載されていますが、日常生活で硬貨を目にすることはありません。

### 「1 ドン札」が映すベトナムの経済成長

日本人が初めてベトナムに来て、ベトナムの紙幣を手にとるとその桁の多さに驚くでしょう。そのベトナムで最も単位が大きい紙幣は 50 万ドン札です。

骨董市では 1 ドン札が売られていました。この 1 ドン札は 1985 年に設定されたものです。この紙幣が発行された同時期には 50、100、500 ドン札が新たに設定されています。翌年にドイモイ政策による経済開放が打ち出され、経済成長と同時に一気にインフレが進みました。モノの価値が上がると同時にお金の価値は下がりました。この高度成長による物価の上昇は、高度経済成長期の日本でも起こりました。

ベトナム国家銀行によれば、現在ベトナムでは 100 ドン紙幣が最も小さい紙幣として認められています。ですが、100 ドン札も 200 ドン札もめったに見ません。



以前使われていた 1 ドン札と、現在ベトナムで最も単位が大きい 50 万ドン札<sup>1</sup> (約 2,499 円)

<sup>1</sup> ドン = 0.004998 円 (2021 年 10 月 26 日時点、ブルームバーグ参照)

## ベトナム戦争を生き延びた「南ベトナムの500ドン紙幣」

たった半世紀前までベトナムは2つの国<sup>2</sup>に分かれていました。紙幣は時代の背景を映し出す。

骨董市で偶然見つけた500ドン紙幣は、ベトナム共和国（南ベトナム）のものでベトナム戦争中の1969～1971年に発行されました。紙幣には南ベトナムの中央銀行である旧ベトナム国立銀行（現在のベトナム国家銀行ホーチミン支店）が描かれており、さらにベトナムの有名な武将、チャン・フン・ダオ（陳興道）の透かしが施されています。当時のデザインを比べると、北ベトナムの券面はホー・チ・ミン像や風景、建物が描かれたのに対し、南ベトナムの券面には旧ベトナム国家銀行、歴史上の人物、動物、風景、建物が描かれました。

1975年にサイゴン（現在のホーチミン市）が解放。その後、南北ベトナムが統一され、両国で使われていたドンも、新たなベトナムドンに統一されました。



(文中の写真) JSI 撮影、ベトナム国家銀行のホームページより

### ディスクレーマー

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはジャパン証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

<sup>2</sup>ベトナム民主共和国（北ベトナム）とベトナム共和国（南ベトナム）